



様式第10号(第14条関係)

令和5年6月30日

持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事

住 所 鳥取県八頭郡八頭町安井宿 1154 番地
団体名 Frontier School
代表者職・氏名 代表・内田 奏 杜

年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 寄附金受入額 令和4年度合計 32,000円
- 2 添付書類
 - (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
 - (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>
 - (3) その他参考資料

様式第10号の2 (第14条関係)

令和4年度寄附金活用実績報告書

事業名	Frontier School
実施期間	令和4年9月10日～令和5年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	<p>寄付金充当予定の令和5年度の活動計画を記述する。但し、上述の実施期間は準備(積立)期間とし、以下の令和5年度の活動に向けて積み立てるものとする。</p> <p>名称：とっとり未来 Lab. 期間：令和5年7月～8月 4日程で実施予定 場所：八頭町芸術文化交流プラザ「あーとふる八頭」 対象：鳥取県内の高校生（八頭高校生を主対象予定） 内容：高校生が自身の興味関心や問題意識を一段掘り下げて探究する中で、挑戦したいことを発見するスタートアップ事業</p> <p>*詳細は添付資料を参照</p>
事業実施の成果・効果 (見込み)	<p>(1) 高校生が地域をフィールドに探究活動をするを通して、挑戦したいことが見付き自身軸を模索することができる。</p> <p>(2) イベント内のミッションを通して、課題解決能力をはじめとする持続可能な社会の創り手として必要なスキルが身につく。</p> <p>(3) 鳥取から新たな教育価値、文化を創造し発信することができる</p> <p>(4) 地域学校協働活動の一つのロールモデルになり得る</p> <p>(5) 県内外の多くの大学生が企画運営にかかわり高校生と大学生のつながりが増え鳥取の高校生の進路選択の幅が広がるとともに、関係人口の創出につながる。</p>

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式第10号の3（第14条関係）

年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	32,000 円	第1回交付分
収入 計	32,000 円	

【支出】

区 分	金額（円）	内 訳
繰越金	32,000 円	次年度繰越金
支出 計	32,000 円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。